



WONDER STORAGE PLUS

ワンダーストレージ
ホールディングス社内誌
ワンダーストレージプラス

職場突撃インタビュー！
熱い想いと、これから。



■ グループ会社 社員特集。

■ 人気連載！
「ようこそ 社長室へ」

■ 杉本梢さん職員に向けた
障害理解セミナー

今月の注目



熱い想いと、これから。職場突撃インタビュー

創業メンバーとしての想い。

佐藤社長との再会。そして入社まで。

2013年2月、当時私は愛知県で仕事をしていました。友人の結婚式で北海道に戻る機会があり、前職で一緒に仕事をしていた佐藤社長に一時北海道に戻るのでご飯でも如何でしょうかとお誘いさせて頂きました。札幌に戻り食事をご馳走になり話をしている中で、以前からいつか一緒に仕事が出来たらと思っていた私はチャンスと思い、佐藤社長と一緒に仕事がしたいですとお伝えしたのが始まりです。4月末には北海道に帰り空港まで佐藤社長と柴田常務に迎に来て頂き新居のアパートまで送って頂きました。(アパートには洗濯機が用意してありました)

5月から初任者研修に通い1ヶ月で資格を取得し6月からはヘルパー兼営業として活動をスタートしました。

6月より本格的に営業をスタートし、当時営業部のトップであった柴田常務に何度も営業同行を頂き一人で回るようになりました。正直過去に営業経験があったので簡単に数字が上がるだ

ろうと思って楽観視していました。
1ヶ月があつたという間に経過し2ヶ月が経ち焦りが出来始め営業トークもグチャグチャになりドツボに陥ってました。3ヶ月経ちもう後がなくなり今月やつて駄目だったら辞表だそうと思つていました。

そんな中で自分にとってはこれが最後の見学対応になるなという日が来ました。住宅につき案内が終わり食堂で費用説明をしようと思った時になんと佐藤社長がきて見学に来ていた家族様に切々と住宅の説明、セブンブレンチの介護についてを説明して頂いた所、なんとお客様の方からこちらの住宅でお世話になりますとのお言葉を頂きました。

そのときに思ったのが佐藤社長と自分のトーク力の違いがはっきりとわかりましたのでそこから今でもそうですが佐藤社長のトークを丸パクリしています。あの時佐藤社長が商談に入ってきて頂かなければ今の私はなかつたかもしませんね。

**ここだけは譲れない
仕事へのこだわりは何でしょう？**

正直そんなに自慢が出来るものはありませんし、譲れない所もあるとは思つてはいません。一つ

今月の推し社員！



株式会社セブンブレンチ
取締役 滝波 充 (46)
趣味：バーベキュー

ハゲじゃねえ！スキンヘッドというヘアスタイルだ！

言えるとしたら丸6年入居営業をコツコツやってきましたので誰よりも入居する人や入居紹介を頂けるケアマネージャー様やソーシャルワーカー様と関わりを持ってきてますので。少しだけ信頼を頼いでいるかもしません。

後はそうですね・・・

誰もが断ることは積極的にやつてしまつた。やります宣言を掲げ引越しのお手伝いや「ミニ屋敷の片づけを行つたり役所への各種申請や委任状を頼いての手続き等々。もちろん見学時の無料送迎や退院時の住宅への入居対応。こういう日々の積み重ねが信頼に繋がつたと思ってます。

営業部の取締役として、たくさんの部下を持つて感じることば?

身の引き締まる思いです。

役職を頂く前は自分が数字を作つて会社に貢献できればと思っていましたが部下を育て自分がやつてきた事を教え伝えていく事つて難しいなと日々感じております。

私は今までデータ分析をするというよりは自分の感覚で動いてきたので過去の数字や実績を追うのがメチャメチャ大変です。自業自得ですが・・・。ただ、たくさんの部下（仲間）を持つた事で今まで一人で考え行動しなければならなかつたですが様々な意見やお願いして行動してくれる部下（仲間）がいるというのは非常に有難いものです。しっかり確立していく営業部が会社の推進力になつてているという状態にするのが目下の目標です。

佐藤社長への想い。

私は前職からも含めると佐藤社長と約15年一緒に仕事をしてきてます。途中空白期間もありますがほぼ創業メンバーとして大変な状況も

乗り越えてきました。
大雪が降った時の雪かき、人が無理といった住宅に毎日通り段差解消方法を模索、朝晩の入居者様へのお弁当の配食、3連続当直明けからの営業。

これら様々な経験は今の自分の糧になつている事は間違いありません。

創業時は人もいませんし私は39歳で拾つて頂いた事に前述しましたが一歩間違えば3ヶ月で退職をしそうな所も救つて頂いています。

今後の滝波さんの挑戦、そしてさらなる進化に燃える滝波さんから目が離せませんね！

入社する前に聞いた佐藤社長の五年後・十年後・十五年後のビジョンを確立するために滝波がいたからここまでこられたと言われる人物になつていきたいと思います。



最近は子煩惱パパな様子が社内でも有名！



日々の進化をしていく意識で、常に打ち合わせもこまめに！

滝波充さんイチオシ宣伝！

うるおいの家『手稲本町』

入居者募集中！

9月1日(火)にオープンするオススメの物件です！

8月27日(金)・28日(土)・29日(日)には内覧会もやつてあります！(本誌裏面にも詳細あります)
お問い合わせは下記まで お気軽にご連絡ください！

お問い合わせ / お申込はこちらから

問合せ : 0120-114-212 営業担当直通

E-mail : info@wonderstorage-h.jp

ホームページ





いのまた さとこ 猪股 聰子が聞く! 今月の Wonder ワンダーさん

株式会社セブンブレンチ
執行役員

中野渡 ルリ香 さん



利用者様が主人公!
ここで一生終えたいと
自分自身が思える場所を作りたい。
～パートから管理職へ。

学校卒業後、特別養護老人ホームで相談員を一年経験間務めたのがスタート。結婚と子育てで十年のブランクを経て復帰。

母親業と両立しながら働かせてもらえる仕事が少なく、求人情報誌を見てはなかなか見つからない事に悩みながらも、働くママにとって好条件の業界が介護業界だった。

違う仕事に就きたかったが、ヘルパーとしてこの業界に戻った。本当は戻りたくなかったという。

今から二十年前の特別養護老人ホームは人が人として扱われていなかつた時代。

それを何とかしたくて頑張ったが「あなた一人でがんばっても何も変わらない」と先輩の介護士さんや周りに言われ、心が折れてこの業界から身を引いたが、戻ってみたらやはりこの仕事が好きなんだと再確認した。

「来てくれるのが楽しみ」「来週また待つていいね」といわれる嬉しさ、やはりこの仕事が大好きなんだと思ったそう。

一日の中でこんなに
「ありがとう」といわれる仕事はない。

当時セブンブレンチは、一騎当千の猛者!…というような勢いあふれるメンバーで毎日で仕事をしていた。

主婦としての生活をしてきた中野渡さんは、家庭を大事に働かせてほしいという考えが強かつたが… とてもない勢いで会社を必死で育てている真っ最中。

それを目の当たりにした中野渡さんはセブンブレンチについて返る。

当時は高齢者の置かれている境遇が
悲惨だったんです。

実は中野渡さんは年商一千五百万の幌平橋の事業所を年商1憶にまで成長させたスーパー・レディである。

目の前の仕事を一つ一つこなしていくだけです。

もちろん大変でしたが、サポートしてくれたのは佐藤社長。やればなんとかなるという経験を貰えてくださいました。と…ありがとうございます。

そう佐藤社長に育てられてきたからこそ、一事業所をなんとか回す経験ができた。

私はなかに特別なものを持ってスタートした訳ではないです。最初ヘルパーとして採用された方や、パート勤務だけど正社員を目指したい方、十年、二十年後を見据えキャリアアップしたい方はぜひうちに会社で働いてほしい。

私のようにパートから管理職を目指す事も可能です。】

そして、大切なのは【利用者さんの人生をサポートする側】という気持ち自分達がやりやすいように型にはめる勘違いな介護ではなく、利用者さんが主人公である事を忘れない事。

【自分が年を取ったときに、自分ならどう介護されたいか、ここで一生を終えたいと思える場所を作りたい。】

働く女性の力を最大限に發揮させてくれる会社、ワンダーストアージホールディングス。皆の目標であり続けるからこそ、中野渡さんの異なる挑戦は続く…!

毎日が苦戦。 だけど毎日が楽しいです。

障がい者共同生活支援
グループホーム なごみ

青沼 裕之 さん



入社のきっかけを教えてください。

前職が、同じ高齢者住宅紹介業でした。前職でフェイスブックをアップしており、フェイスブックを佐藤社長が見て、ダイレクトメッセージをいただきました（後から聞いたら違う人と間違っていたそうです笑）

当初は「おむすび会員」になるだけの話で進んでいましたが、途中で前職の会社が紹介業を閉めると告げられ、佐藤社長・滝波取締役と3人でご飯に行き、1時間後には一緒に働くこと声をかけていただき、北海道ケアパートナー協会に配属となりました。

仕事自体が前職とほぼ同じだったので特に研修もなくお客様もそのままで前からいたような顔で仕事をさせていただきました（滝波取締役の大きな心のお陰で）当時は朝の配食を経験したり、自社物件への入居促進が始めてだった私には毎日が新鮮でした。

今年、3月に障害者グループホームの稼働人員が足りなくなり、ヘルプとして毎日、夕稼働に入る事になり、現在はそのまま管理業務と世話人として働いています。

グループホームと高齢者住宅は一緒だろうと甘い考えで働いていましたが、全く違う事に気付きました。主に知的・精神障害のある方の支援ですが、皆さん基本的に身体は元気なんです。ただ心が元気ではない。

嘘のない笑顔、一度言った事は訂正がきかない、何度も話しても納得されない方。

等々毎日苦戦しています。ですが、少しづつ元気になっていくところに携われたり、一人一人の笑顔を見れた時は、とてもやりがいを感じて明日も頑張れる自分がいます。

毎日、苦戦することもありますが、毎日が楽しいです。今後、グループホーム事業を拡大していく中で、もっと勉強しもっと笑顔で頑張りたいと思っています。

その他、なごみのいい所について。

僕の話を、ここまで話しましたが、なごみでは、他に6名スタッフがいます。普段の業務は朝6時半に食事の準備、日中は、入居している方の面談や病院同行、相談室や病院対応をしています。なごみで働くスタッフの方は、皆さんとても優しく、いい人が多いので、一緒に働きたいと思ってくださる方、いましたら、仲間大募集です。あとは、なごみに住みたいという入居者も募集しております。特に式番館が空きがあります！ぜひ、お問い合わせ、お待ちしております！

＼現在のオススメ！／

障がい者グループホーム

なごみ
式 番 館

札幌市南区澄川1条2丁目7-3



お問い合わせ
株式会社セブンブレンチ

〒062-0921 札幌市豊平区中の島1条5丁目1番2号

TEL: 011-827-9334 FAX: 011-827-9335

※10月より「障がい者グループホームまくあけ」に
名前が変更予定です！

代表取締役兼グループCEO
佐藤 肇祐

連載

ようこそ 社長室へ



第三回 「誰とやろうか?」

2回で飛び込み営業と夜のバイトについて書きましたが、夜のバイトはそんなに回数が行わなくて資金的にいける!と踏みました。途中でキャリアコンサルタントの仕事や、それこそ現社長室 室長の荒木さんが元いた会社からの広告の発注、スポーツ協会などの団体からの大型発注があり、買掛の支払いをして1ヶ月で現金は百万元に増えました。自分の運の強さには本当に驚きます。(1)

うけど www) サラリーマン時代は、上場企業という肩書きがあり、ブランディングも完璧、プロダクトも完璧 業務管理や内部統制もできている中で営業していたことが本当にありがたく、どれだけ自分が甘えた環境にいたのかは、この1ヶ月で痛感しました。会社を創業するといふのは、様々なことがとても辛いですが、今までの環境がいかに生温い退屈地獄だったかをあちつと理解し、「Exciting, Isn't It? (ワクワクしちゃおうよ...)」という旗印の会社を創ろうと思つた1番の切っ口にもなったと思ってます。

結果、百万円の現金は、金融機関に大きなインパクトを与えました。それまで、融資が門前払いだったのが、通帳に百万円が入ったことで、

当時の北洋銀行の課長さんが話を聞きたいと担当者を飛び越して電話をくれました。そこで、北海道の制度融資で百万円の資金調達ができました。
1、目的が明確になった (福祉事業をスタートする) 2、やるための資金調達をした(金ができる)じゃあ次は、3、リソースの調達だ! つまりは福祉事業で言えば最大リソースは人財です。そしてよくわからないままサービス提供責任者を2名正職員で雇用しました。このうち一人がのちにいうおいの看取りを仕組み化する駒井縁さんです。現場サイドは人財が揃ってきた、ビジネスモデル的には人財を採用し続けなければならないけど、以下の部分は大丈夫だ!となりました。ここまで、無一文で創業したのが2011年5月17日。ケアサポートうるおいの事業所番号の取得が2011年7月11日。2ヶ月かからずの話ですから、我ながら頑張ったと思います。
40歳になつた今なら、当時の自分のめちゃくちゃな馬力をしこたま褒めてあげたいです。

さて、ここで 3歳当時の私は、もう一つの検討事案にぶち当たります。
すつと一緒についてける経営人財を誰にするか? です。

頭に浮かんだのは・・・あいつでした。

自分の破茶滅茶な部分を容認、もしくはスルーしながら事を冷静に進めることが出来る、自分と真逆なあの男。

そして2番目に浮かんだのは・・・あいつでした。
愚直で環境の変化に強く、忠誠心が高い、人に嫌われない才能があるあの男。

両方とも北海道出身。さて誰でしょう? (笑)



information

当事者の声を届ける



Lululima branch

代表 杉本 梢(講演家)

ワンドーストレージホールディングス株式会社
セブンプレンチ株式会社広報担当
一般社団法人北海道パリアフリー推進協会副会長
視覚に障害をもつ当事者(弱視)
元特別支援学校の国語教員

はじめまして、講師の杉本梢と申します。

Lululima branch(ルールリマブランチ)では、

正しく障害を知る機会をあらゆるスタイルでご用意しています。

主に、全ての方が対象の「**障害理解個別教室・相談**」と

「**企業・団体向け講演会の講師業**」等を行っております。

6月25日にワンダーストレージホールディングス職員向けの研修会を開催しました。

主に就労継続支援A・Bの職員を対象とした内容です。事前アンケートで希望の多かった「障害当事者の経験談」を中心にお伝えさせていただきました。講師である私自身、生まれつき視覚に障害をもっているため、生い立ちと共に感じたことや障害とどう付き合ってきたのかなどを話しました。年間を通して定期的に研修を行い、現場で働く支援者の専門性の更なる向上を目指します。これから1年間関わらせていただくので、私のことを知っていただく良い機会になりました。



【現場で求められていること】

障害理解という言葉をご存知ですか?

“社会が障害者やその障害を適切に理解すること”です。障害当事者は自分の障害を理解されることを望んでいます。理解される環境が整っていることで、利用者が安心して就労に向けた経験をつむることができます。

【障害を理解するために必要なこと】

障害を理解するために必要なことが二つあります。一つは、様々な障害をもった方から直接話を聞くことです。そうすることで、誤解や偏見が少なく理解できます。また、持続的な効果も期待できます。もう一つは、障害に対する一定の知識を得ることです。障害の種類の理解で終わらせないことと、現場の職員が障害を理解するための知識を共有していることが大切です。

今回は当事者の経験談を中心にお話しましたが、次回は障害理解の基礎知識となる「障害理解の3つのコツ」についてお伝えします。これは、障害種を限定せず「全ての障害」に当ては内容です。ここでも、様々な当事者の経験談を添えてご説明します。

【障害理解啓発活動】

私は「正しく障害を知らせる啓発活動」をするためにLululima branch(ルールリマブランチ)を立ち上げ代表となりました。特別支援学校の教員として得た知識と、当事者だからこそ経験してきたことを活かしています。障害が社会や個人に理解されることの必要性をセミナーやイベントを通してお伝えしています。

セミナーは、ワンダーストレージホールディングスのセミナールーム「ろんじーる」で開催しています。8月のテーマは「子どもの発達障害」(11日)と「障害理解」(22日)です。

イベントは「コミュニティーbar 札幌で飲もう」のご協力の元、障害の有無に関係なく楽しく交流ができるイベント「障害理解啓発bar」を定期開催しています。障害をもっている方も安心して参加できるよう、点字のメニューや店内の移動介助、筆談ノートなど環境を整えております。8月27日(木)の開催で10回目を迎えます。今まで通算で200人以上の方にご参加いただきました。

場所は「コミュニティーbar 札幌で飲もう」(札幌市中央区南4条西3丁目1-1 第3グリーンビル5階)です。

セミナーとイベントへのお問い合わせは(s.kozue@lululima-branch.com)までお願い致します。



ワンダーストレージプラス8月号



うるおいの家® 手稲本町 内覧会の新しいカタチ

—ハイブリッド内覧会開催—

会場

札幌市手稲区手稲本町 2条 2丁目 1-2

手稲駅から徒歩5分 / JRバス手稲本町 徒歩1分
※JR手稲駅 / 地下鉄東西線宮の沢から送迎者運行【予約制】

JR手稲駅

内覧会会場

日時

8月27日(木) 28日(金) 9:00 ~ 21:00
29日(土) 9:00 ~ 15:00

手稲中央
小学校



コロナウイルス対策
徹底宣言



1 完全予約制 リアル内覧会 / 人数制限 (1グループ2名まで)

※ソーシャルディスタンス徹底の入館制限 時間差入場で館内での接触を防ぎます！

平野 健太 社長とは



釧路出身、調理師、大手居酒屋チェーン取締役を経て、起業。炭リッチ・まるやまめろん・ベーカリー事業・レストラン事業・BBQ事業・居酒屋事業を数々プロデュースし、120店舗以上の新規出店に携わっている。

2 完全予約制 リモート内覧会 一参加型一 1回15分程度

※ZOOM/FaceTime/LINE リアルタイムで質問対応

3日間限定!!

来場者全員に無料提供！！

敏腕プロデューサー『平野 健太』社長と
超リッチなご当地コラボメニュー！

うるおい～麺



おどろき～な!
カレー



お問い合わせ / お申込はこちらから
ワンダーストレージホールディングス株式会社

問合せ : 0120-114-212 営業担当直通
E-mail : info@wonderstorage-h.jp



本社ページへ



Facebook